

庄原保育所の「民間委託」をやめさせましょう



滝口市長は、2012年度に庄原保育所を移転、新築したら、2013年度から、その運営を、高齢者福祉施設を運営する、ある社会福祉法人に、安い委託料で、まかせようとしています。

庄原保育所保護者会は、総意として、保育士を全員入替えること（民間委託）をやめるよう要望書を市長と市議会議長に提出しています。

保育は未来を担う子どもたちを育む大切な市の仕事

庄原市の将来を担う子どもたちを育む保育は、自治体本来の仕事です。だから、これまでも、市の保育職員によっておこなわれてきたのです。

市の保育職員であっても、計画的な人事で、経験の長い職員から若い職員まで（臨時職員を採用して正職員にし）まんべんなく確保、増員し、看護師も配置すれば、人件費を余り増額することなく、3歳未満児保育の充実、延長保育の充実などを実現することは可能であり、その方が、雇用も安定し、保育の内容も充実するのではないのでしょうか。

保育経験のない社会福祉法人では運営は無理

仮に、入所児定員200人の庄原保育所の運営を、民間委託とした場合、40名を超える民間の保育士、調理士、看護師を、民間委託する直前の試験で（市からの委託料が、民間委託する年度からしか出ないので、早く採用しても賃金が払えない）、経験の長い職員、若い職員というように、まんべんなく採用することは、不可能です。

仮に、なんとか採用できたとしても、お互いが初顔合わせというのでは、200名の子どもたちの顔と名前が一致することすら難しいでしょう。しかも、経営者は、保育の経験は全くありません。

これでは、保育の充実とは、とても言えないのではないのでしょうか。

保護者のみなさんの声を大切に

庄原保育所保護者会のアンケートより

- 市役所がおこなうことは、基本的に公共サービスです。子育て支援とは福祉です。公共サービスを民間に任せてどうなるのですか？
- ベテラン職員の減少が心配。庄原市で一番大きな保育所であり、保育行政の拠点として市が責任をもつべき。
- 保育士が変わってしまうので、子ども親も不安。できれば、今の保育士で。

高野町の「道の駅」1億5千万円

庄原市は、高野町の「道の駅」1億5千万円もかけて、「道の駅」を建設するとしています。1億5千万円を節約し、保育の充実に使えばいいのではないのでしょうか。